

# 「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 6 月 1 日

事業名称		用地買収事務費 [ 東大和市土地開発基金運用事業 ]									
予算科目	款 8	土木費	項 3	都市計画費	目 1	都市計画総務費	事業番号	10			
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	総務管財		課 用地管財			係	課長名	岩本 尚史			
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	4 - 1			
【施策名】 市街地の整備							総合計画書 (ページ)	83			
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)							
	土地開発基金 →			土地開発基金の額							
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 適正に管理される。			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 5年以上基金に属している土地等の額 →							
③ そのために何をしましたか。 ①基金で土地を取得する。 ②基金に属する土地を処分する。(一般会計で買い戻す。)			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ①取得額 ②処分量 →								
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標			
	対象指標	①の数値	円	10,000,000	10,000,000	10,000,000	/				
	成果指標	②の数値	円	0	0	0	/				
	目 標	②の目標値	円	0	0	0	/				
目標値設定の考え方 基金を活用するために、基金で取得した土地等を一般会計により早期に買い戻すことが必要である。											
活動指標		③の数値	円	①0 ②0	①0 ②0	①0 ②0	/				
3 経費	事業費(実績)		円	0	0	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	0	0	0					
		特定財源	円	0	0	0					
		(うち受益者負担)	円	0	0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1					
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0					
		職員人件費(再任用以外)	円	831,000	831,000	831,000					
職員人件費(再任用)		円	0	0	0						
事業費+人件費		円	831,000	831,000	831,000						
4 環境変化等	(1) 開始年度		昭和44年度								
	(2) 環境の変化 基金設立時の基金の額は4,600万円であったが、地価高騰に伴う先行取得の必要性等により増額され、最終的には平成3年に13億円となった。 基金を活用する事業の減少等の実情に合わせるため、平成24年度に基金の額を1億円とする条例改正を行った。										

